

様式第1号（第2条関係）

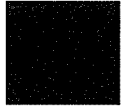
令和 7年 3月31日

恵那市長

小坂 喬峰 様

（恵那市議会議長経由）

恵那市議会議員 千 藤 安 雄



交 付 請 求 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求します。

記

政務活動費請求金額 40,000円

但し、令和 6年12月分 ～ 令和 7年 3月分

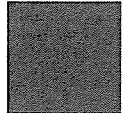


様式第2号（第2条関係）

令和 7年 3月31日

恵那市議会議長
鵜飼 伸 幸 様

恵那市議会議員 千 藤 安 雄



収 支 報 告 書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和 6年12月分～令和 7年 3月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

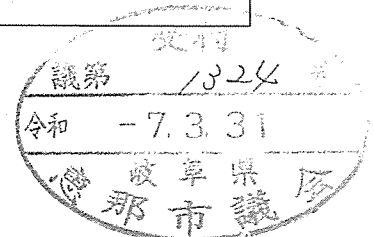
1 収 入

政務活動費 40,000円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	44,008	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	44,008	



様式第3号(手引き第4章関係)

令和 6年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 千 藤 安 雄

(令和 6年12月 1日 から 令和 7年 3月31日 まで)

単位 (円)

日付		整理 番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
2	6	3	調査研究費	2/6 宿泊費	15,200	15,200	24,800
2	7	4	〃	2/6.7 バス代金	28,808	24,800	0
合計					44,008	40,000	0

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和 6 年度	項 目	調査研究費		
整 理 番 号	3	議員名	千 藤 安 雄		
支出の按分の状況	(按分の内容) 朝食代を除く宿泊費のみを計上 (16,640 円－1,440 円)＝15,200 円（端数切捨て）				
	(按分率) 1 0 0 %	(政務活動費充当額) 1 5, 2 0 0 円			
領収書の補足説明	2月6日～2月7日 行政視察における宿泊代				
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄					

領 収 書

RECEIPT

No. 199221

千 藤 安 雄 様

¥ 16,640-

但し 二"宿泊代(朝食代¥1440/宿泊税¥100含む)"として

☐ 飲食料品等（軽減税率対象）

8%（税込・税抜）金額

消費税額等

2025年2月13日

上記の金額正に領収いたしました。

10%（税込・税抜）金額

消費税額等

16,540 / 1,503

登録番号：T270015

名 称：地方職員共

ホテル ルポール 麹

東京都千代田区平河町

TEL03-3265-5361

受領係印

印紙税法第5条第1号の規定（※表第1の第17号文書）により収入印紙は貼付しません。

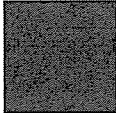
支 出 伝 票

金額 15,200円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7年 3月 31日

恵那市議会議員 千 藤 安 雄



- 1 支 出 先 東京都千代田区平河町二丁目四番三号
ホテルルポール麹町
- 2 支出年月日 令和 7年 2月 13日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 宿泊代
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

領収書貼付用紙

年 度	令和 6 年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	4	議員名	千藤 安雄
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち 10 人で割った金額を計上 (288,080 円÷10 人=28,808 円) (端数切捨て)		
	(按分率) 100%		(政務活動費充当額) 28,808 円
領収書の補足説明	2 月 6 日～ 7 日行政視察におけるバス代 (貸し切りバス代、高速料金、乗務員宿泊代)		

領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄

請 求 書

請求書№: 00005755-001-01

発行日: 令和07年02月18日

新政会 様

フア一名: 東京経済会

期 間: 令和07年07月06日(木) ~
令和07年07月07日(金) 1泊2日

このたびは弊社をご利用いただきまして誠に
ありがとうございます。下記料金のご請求を
申し上げますのでよろしくお願い致します。

株式会社新政会
株式会社ことと
〒420-8301
岐阜県中津川市
TEL: 0572-48-21
代表取締役: 飯
前 智幸・代表 奥

登録番号: T72000202378

合 計	お預の金額	ご請求金額
288,080円	0円	288,080円

うち消費税 28,199円 (10%税率) 288,080円 消費税 28,199円

品名	単価	数量	金額	備考
1.貸切バス代(中乗バス)	242,000	1	242,000	ワンマン
2.高速料金	24,280	1	24,280	高速道路料金(大宮線)
3.駐車場金	5,300	1	5,300	夜間駐車含む全行庫
4.常設食品販売費	13,200	1	13,200	宿泊・食料等
5.旅行取扱料金	3,300	1	3,300	

領 収 証

№ D001838

新政会

様

R7年3月8日

金額

千	百	十	円
2	8	8	0

☐ バス代金として ☐ ツアー代金として
☐ 旅行代金として ☐ その他

印

新政会 代表取締役 飯前 智幸

印 2024年02月18日

10%の消費税 28,199円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

税別 259,881円

株式会社ことと

〒420-8301 岐阜県中津川市

TEL: 0572-48-21

FAX: 0572-48-21

E-MAIL: info@koto-koto.co.jp

URL: www.koto-koto.co.jp

代表取締役 飯前 智幸

代表取締役 奥

代表取締役 飯前 智幸

代表取締役 奥

代表取締役 飯前 智幸

代表取締役 奥

代表取締役 飯前 智幸

代表取締役 奥

代表取締役 飯前 智幸

支 出 伝 票

金額 28,808 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和 7 年 3 月 31 日

恵那市議会議員 千 藤 安 雄



- 1 支 出 先 岐阜県中津川市蛭川 5328
株式会社 ごとう観光
- 2 支出年月日 令和 7 年 2 月 28 日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 2 月 6 日～2 月 7 日 バス代金
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由
研修参加者 10 名分の領収書を代表者が受領しているため。

令和 7年 3月 31日

恵那市議会議長

鵜飼 伸 幸 様

恵那市議会議員 千 藤 安

研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 期 間 令和 7年 2月 6日 ～ 令和 7年 2月 7日

2 研修視察先

2月 6日：東京都港区南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 2 1 F
株式会社 フォーラムエイト

2月 7日：座学

東京都千代田区永田町 2-2-3

衆議院第2議員会館 7階 7 1 8 会議室

①地方再生 2.0 の今後の取組みとその活用

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

参事官補佐 佐 藤 祐 亮 氏

②地方における魅力的なまちづくりの好事例

国土交通省 都市局まちづくり推進課

企画専門官 丸茂 悠 氏 他3名

：現地見学 リニア中央新幹線品川駅工事現場

3 研修視察名

新政会を中心とした有志議員による行政視察

4 研修視察者

服部紀史、太田敦之、千藤安雄、後藤康司、西尾 努、柘植孝彦、伊藤勝彦、
渡辺武彦、林 貴光、町野道明（10名）

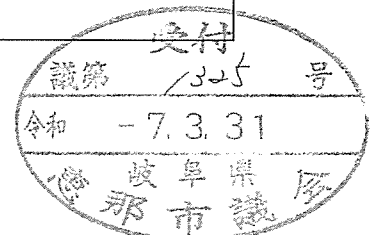
5 概 要

2月 6日：株式会社フォーラムエイト視察

2月 7日：衆議院第二議員会館にて国の官僚による政策説明
リニア中央新幹線品川駅工事現場現地視察

6 効 果

別添の通り。



令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 千 藤 安 雄

1. 会の名称	新政会を中心とした有志の会
2. 開催日時	令和 7 年 2 月 6 日 13 時 30 分～16 時 00 分
3. 会 場	株式会社 フォーラムエイト
4. 参加議員名	伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、千藤安雄、後藤康司 西尾 努、柘植孝彦、渡辺武彦、林 貴光、町野道明
5. 参加人数	10 人
6. 内容（目的）	株式会社フォーラムエイトは、F I A 世界ラリー 選手権日本ラウンドのオフィシャルタイトルパート ナーで、恵那市の自動運転実証実験の協力企業でも あり、ソフトウェア、サービスのクラウド化により サステイナブル社会、D X の時代を推進する企業の 取り組み状況などを現地視察した。
7. 効 果	会社概要と業務内容について説明を受け、主な 業務は、ソフトウェアパッケージの開発を基盤と した構造物設計や土木・建築を支援するソフトウ ェアと技術提供設計から始まり、現在ではドロー ン講習などを展開している。V R（仮想）空間を 使用して現実と同じ学習体験での臨場感あふれる 疑似体験は、これからの働き方や学び方に革命を もたらす技術で、上手に業務に活用することで、 より効率的で柔軟な対応と作業効率化、質の向上 も図られることが期待される。今後、このバーチ ャル業務と V R シミュレーションが果たす役割が ますます重要となり、住民サービスの質を向上さ せるだけでなく、行政の効率化にも寄与すると感 じた。

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 千 藤 安 雄

1. 会の名称	新政会を中心とした有志の会
2. 開催日時	令和 7 年 2 月 7 日 9 時 30 分～11 時 30 分
3. 会 場	衆議院第二議員会館 7 1 8 会議室
4. 参加議員名	伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、千藤安雄、後藤康司 西尾 努、柘植孝彦、渡辺武彦、林 貴光、町野道明
5. 参加人数	1 0 人
6. 内容（目的）	国の官僚から今後地方にとって重要となる以下の政 策説明を受け、本市の市政に生かす。 1. 地方再生 2. 0 の今後の取組みとその活用 講師：内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局参事官補佐 佐藤祐亮 2. 地方における魅力的なまちづくりの好事例 講師：国土交通省都市局市街地整備課企画専門官 松村知樹、まちづくり 推進課企画専門官 丸茂悠、街路交通施設課課長補佐 近安規晃
7. 効 果	1. 地方再生 2. 0 の今後の取組みとその活用 石破総理の重点政策「地方創生 2. 0」で、地方こそ 成長の主役として設置された新しい地方経済・生活 環境創生本部が、人口減少が続く地方を守り、若 者・女性にも選ばれる地方（＝楽しい地方）などの 政策強化と第 2 世代交付金での国の伴走支援強化などの地域課題解決に向けた、今後 10 年間集中的に取り組む考えなどが示され参考となった。 2. 地方における魅力的なまちづくりの好事例 恵那市でも策定を進めている立地適正化計画に基 づく、持続可能で強靱な都市構造へ再編を図ること を目的とする「都市構造再編集 中支援事業」と車中 心から人中心の空間へと転換を図り居心地がよく歩 きたくなる街中づくりを推進する「まちなかウォーカブル推進事業」、未来ビジョン策定とビジョン実 現のための自立・自走型システムの構築への支援 「官民連携まちなか再生推進事業」の活用について 参考となった。両講義とも国が推進している最新事業の状況や今後 の展望を知る貴重な情報を得ることができた。

令和 6 年度 恵那市議会政務活動費実施（参加）記録書

議員名 千 藤 安 雄

1. 会の名称	新政会を中心とした有志の会
2. 開催日時	令和 7 年 2 月 7 日 14 時 15 分～15 時 00 分
3. 会 場	黒部市役所
4. 参加議員名	伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、千藤安雄、後藤康司 西尾 努、柘植孝彦、渡辺武彦、林 貴光、町野道明
5. 参加人数	10 人
6. 内容（目的）	着々と進むリニア中央新幹線の始発駅となる品川駅 工事概要と工事現場の進捗状況を見学する。
7. 効 果	リニア中央新幹線の品川駅工事は、非常に難易度 の高い工事で、稼働している東海道新幹線が走る真 下の地下で駅舎工事が行われており、最新技術を駆使して、安全かつ効率的に工事が進められていた。この工事は、開削工事から始まりリニア中央新幹線 品川駅の構造物となる作業空間完成後には、非開削 工事が「シールド工法」で作業が進む予定とのこと であった。早期の開業を目指して、慎重な監視と技 術の進化が続けられており、国の重要なプロジェクトである新時代の交通機関が動き出していることを 実感した。

新 政 会 研 修 レ ポ ー ト

氏名 千藤 安雄。

研修日時 令和 7 年 2 月 6 日(木) ～ 7 日(金)

視察研修

株式会社フォーラムエイト

東京都港区南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 21F

武井千雅子 副社長、 新田純子 営業サポート管理マネージャーより、会社の取組事業について説明をうける。

土木設計、解析、建築設計等を支援するソフトウェアの開発・販売を主力に、最近ではバーチャルリアリティ(VR)ソフトの開発やサービス、解析サービスなどエンジニアリングサービス及びシステム開発を展開し、ドライビングシミュレータなどの各種インテグレーション業務を提供している。

特に説明の中で注目したのが、土木・建築分野の高度な解析と、3D 配筋、/3DCAD をサポート等の多様な可視化システムを行政としても積極的に取入れるべきであると考え。

重要な事業の円滑な推進の為、これからの説明会等には、3D・VR を積極的に活用すべきであると考え。

2 月 7 日 (金) 9:30 ～

座学、衆議院第 2 議員会館

7F 718 会議室

研修課題

地方創生 2.0 に向けた取組について

内閣官房 参事官補佐 佐藤 祐亮氏

2014 年 9 月 地方創生担当大臣を設置してからの 10 年間の動向について説明を受けた。

2024 年 12 月 24 日 地方創生 2.0 の「基本的な考え方」が決定された。

地方創生 2.0 の趣旨として

○都市も地方も、安心・安全で心豊かに暮らせる持続可能な地域経済社会を創るため、これまでの成果と反省を活かし、地方創生 2.0 として再起動させ、人口減少対策につなげる。

○国は、国でなければ出来ないこと、国として挑戦せねばならぬことに取り組む。省庁の縦割りを排し、各省連携して施策を「統合化」、「重点化」して推進する。

○地方は、「産官学金労言」から成る地域のステークホルダーが知恵を出し合い、他の地域の好事例も学びつつ、自主的・主体的に取り組む。

「基本的な考え方」のポイント

○「基本的な考え方」として、以下の 5 点を検討

(1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

(2)東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散

(3)付加価値創出型の新しい地方経済の創生

(4)デジタル・新技術の徹底活用

(5)「産官学金労言」のステークホルダーの連携など、国民的な機運の向上

東京圏への一極集中の流れを変え、「女性や若者にも選ばれる地域」となるため、自ら考え、行動を起こすことが必要で、国民の持つ価値観が多様化する中で、多様な地域・コミュニティの存在こそが、大切であると基本的な方針が示された。

ま と め

ありのままで暮らすの、キャッチフレーズで 2 年連続で獲得した「住みたい田舎ベストランキング No.1」の施策の更なる充実推進、リニア中央新幹線開業に向けた都市計画事業等の着実な推進が、「女性や若者にも選ばれる地域」魅力的な恵那市、元気な恵那市創りになるものと考えている。

地方における魅力的なまちづくりの好事例(国土交通省)

国土交通省都市局	企画専門官	丸山	悠氏
	企画専門官	松村	知樹氏
	係長	松山	拓斗氏
	課長補佐	近安	規晃氏

都市構造再編集中支援事業

「立地適正化計画」に基づき、地方公共団体や民間事業者等が行う都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の誘導・整備、防災力強化、災害からの復興、居住の誘導の取組等に対し集中的な支援を行い、各都市が持続可能で強靱な都市構造へ再編を図ることを目的とする事業。

まちなかウォーカブル推進事業

車中心から人中心の空間へと転換を図る、まちなかの歩いて移動できる範囲において、滞在の快適性の向上を目的として市町村や民間事業者等が実施する、道路・公園・広場等の整備や修復・利活用、滞在環境の向上に資する取組を重点的・一体的に支援し、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進する事業。

官民連携まちなか再生推進事業

官民の様々な人材が集積するエリアプラットフォームの構築やエリアの将来像を明確にした未来ビジョンの策定、ビジョンを実現するための自立・自走型システムの構築に向けた取組を総合的に支援し、多様な人材の集積や投資を惹きつける都市の魅力・国際競争力の強化を図る。

三事業の説明を受けた。

ま と め

恵那市の市域は 504.24 k m²で、内都市計画区域は 172.56 k m²用途地域は 5.90 k m² となっている。

立地適正化計画は都市計画マスタープランの一部と見なされるので、それぞれ独立したものであるが、相互に調整をとり、魅力的なまちづくりを推進する必要がある。

恵那市においては、リニア中央新幹線開業を見据えた、まちづくりを推進する中でスマートインターの建設、岡瀬沢地区の面整備などの都市計画を進める中で、立地適正化計画を作成しなければ、補助事業採択が困難である事業が多くある。

画決定されてから、70年近く経っても手つかずの都市計画道路計画、山林にかけた用途指定区域を、大幅に見直し、恵那市としてのまちづくりの、概念、理念等をしつかり示し、後世に嘲笑されない計画にする絶好の機会である。

スピード感を持って取組んでいく必要があると考える。